

学校の適正規模を図るための 具体的な方策について

小学校第1地域

案1: 唐子小全児童を青鳥小へ再編または、
青鳥小全児童を唐子小へ再編

●メリット

- ・現在より通学距離が短くなる児童が新たに発生する

✖デメリット

- ・適正規模を満たさない
(19学級(R7年度)以上となる)
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する
- ・余裕教室に課題がある
【参考】余裕教室数: 唐子小「5」
青鳥小「5」

小学校第1地域

案2: 唐子小全児童を青鳥小へ再編し、
青鳥小一部児童を松一小へ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく
- ・現在より通学距離が短くなる児童が新たに発生する

【参考】余裕教室数: 青鳥小「5」
松一小「6」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第1地域

案3: 青鳥小全児童を松一小及び唐子小へ それぞれ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく
- ・現在より通学距離が短くなる児童が新たに発生する
- ・【参考】余裕教室数: 松一小「6」
唐子小「5」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第1地域 案1における 児童数、学級数の推移・推計

年度	R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1	114	4	92	3	96	3	106	4	94	3	91	3	94	3
2	105	3	114	4	92	3	96	3	106	4	94	3	91	3
3	122	4	105	3	114	4	92	3	96	3	106	4	94	3
4	132	4	122	4	105	3	114	4	92	3	96	3	106	4
5	113	3	132	4	122	4	105	3	114	4	92	3	96	3
6	152	4	113	3	132	4	122	4	105	3	114	4	92	3
計	738	22	678	21	661	21	635	21	607	20	593	20	573	19

小学校第1地域

案1:唐子小全児童を青鳥小へ再編または、
青鳥小全児童を唐子小へ再編

●メリット

- ・現在より通学距離が短くなる児童が新たに発生する

✖デメリット

- ・適正規模を満たさない
(19学級(R7年度)以上となる)
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する
- ・余裕教室に課題がある
【参考】余裕教室数:唐子小「5」
青鳥小「5」

小学校第1地域

案2:唐子小全児童を青鳥小へ再編し、
青鳥小一部児童を松一小へ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく
- ・現在より通学距離が短くなる児童が新たに発生する
【参考】余裕教室数:青鳥小「5」
松一小「6」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第1地域

案3:青鳥小全児童を松一小及び唐子小へ
それぞれ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく
- ・現在より通学距離が短くなる児童が新たに発生する
- ・【参考】余裕教室数:松一小「6」
唐子小「5」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第2地域

案1: 松二小全児童を大岡小へ再編

●メリット

- ・適正規模となる

✖デメリット

- ・校区変更による児童数の影響が大岡小全児童を松二小へ再編する場合に比べ大きい
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する
- ・大岡小余裕教室数に課題がある
【参考】余裕教室数: 大岡小「3」

小学校第2地域

案2: 大岡小全児童を松二小へ再編

●メリット

- ・適正規模となる
 - ・校区変更による児童数の影響が松二小全児童を大岡小へ再編する場合に比べ小さい
- 【参考】余裕教室数: 松二小「9」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第2地域

案3:市の川小一部児童を松二小へ再編し、
松二小一部児童を大岡小へ再編

●メリット

—

✖デメリット

- ・適正規模を満たさない学校が生じる可能性がある
- ・大岡小余裕教室数「3」に課題がある
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第2地域 案1、案2における 児童数、学級数の推移・推計

年度 学年	R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1	66	2	73	3	58	2	58	2	51	2	43	2	49	2
2	56	2	66	2	73	3	58	2	58	2	51	2	43	2
3	66	2	56	2	66	2	73	3	58	2	58	2	51	2
4	50	2	66	2	56	2	66	2	73	3	58	2	58	2
5	85	3	50	2	66	2	56	2	66	2	73	3	58	2
6	70	2	85	3	50	2	66	2	56	2	66	2	73	3
計	393	13	396	14	369	13	377	13	362	13	349	13	332	13

松二小
+
大岡小

小学校第2地域 案1: 松二小全児童を大岡小へ再編

●メリット

- ・適正規模となる

✖デメリット

- ・校区変更による児童数の影響が大岡小全児童を松二小へ再編する場合に比べ大きい
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する
- ・大岡小余裕教室数に課題がある
【参考】余裕教室数: 大岡小「3」

小学校第2地域 案2: 大岡小全児童を松二小へ再編

●メリット

- ・適正規模となる
- ・校区変更による児童数の影響が松二小全児童を大岡小へ再編する場合に比べ小さい
【参考】余裕教室数: 松二小「9」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第2地域 案3: 市の川小一部児童を松二小へ再編し、 松二小一部児童を大岡小へ再編

●メリット

—

✖デメリット

- ・適正規模を満たさない学校が生じる可能性がある
- ・大岡小余裕教室数「3」に課題がある
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第4地域

案1: 高坂小一部児童を野本小へ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく

✖デメリット

- ・野本小余裕教室数「1」に課題がある
- ・高坂小適正規模の基準をなお満たさない（19学級（R7年度）以上となる）
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第4地域

案2: 高坂小一部児童を桜山小へ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく
【参考】余裕教室数: 桜山小「6」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第4地域 案1:高坂小一部児童を野本小へ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく

✖デメリット

- ・野本小余裕教室数「1」に課題がある
- ・高坂小適正規模の基準をなお満たさない
(19学級(R7年度)以上となる)
- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

小学校第4地域 案2:高坂小一部児童を桜山小へ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく
【参考】余裕教室数:桜山小「6」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する

中学校第2地域

案1: 南中一部生徒を白山中へ再編

●メリット

- ・適正規模に近づく
 - ・現在より通学距離が短くなる生徒が新たに発生する
- 【参考】余裕教室数: 白山中「3」

✖デメリット

- ・現在より通学距離が長くなる児童が新たに発生する